

バスは行く！

第14回～大宰府と二日市温泉の旅～

2005年5月18日

参加者 35名

スタッフ10名

報告：看護師 筒井 梨恵



雨の大宰府天満宮

バスハイク予定日は前日より天候不良と報じられていたため、テルテル坊主を作ってお祈りしていました。当日の天候は思わしくありませんでしたが、予定されていた方のほとんどが参加され、いかにみなさんがバスハイクを楽しみにしているか、あらためて分かりました。私は今回が2回目の参加となりましたが、前回の経験を活かしてより良いバスハイクとなるよう努めました。

今回は当院の津田稔理事長が初参加し、毎回サポートいただいている大同商会のみなさんも、酸素をイメージした新しい青いユニフォームに変わり、いつもとはちょっと違う新鮮なバスハイクとなりました。

天気は朝から曇り空で、大宰府に着いたときには雨も降り出してしまいましたが、雨の天満宮は返って荘厳な雰囲気を感じられました。お土産はやっぱり梅ヶ枝餅！ みんなでまとめて買いましたが、なんとその数、700個で7万円でした！！ 昼食は大宰府のおとなり、二日市温泉の大丸別荘という一世紀半にわたる老舗で、昨年は皇太子も訪れられた旅館です。宴会？は、理事長からの甘酒の振る舞いで始まりました。豪華な京風会席とみなさんの美しい歌声（カラオケ）で、普段は見ることのできない表情・笑顔に囲まれ、とても楽しく過ごすことができました。食事と平行し、温泉を楽しんだ方もおられました。二日市温泉は万葉集にも詠われる、古い歴史を持った温泉です。とても風情のある中庭を横目に渡り廊下を過ぎれば、その先には100坪近い大浴場が待ち受けており、湯船の底には玉砂利が敷いてあって体に優しい感じで、ほのかな硫黄の匂いがしました。

帰るころには雨も止み、みなさん梅ヶ枝餅を両手に帰宅の途につかれました。



津田稔理事長が初参加！



雨で残念...



何を願っているのでしょうか？



昼食は庭園の見えるお座敷で